

## 平成 30 年度事業計画

京都府内に存する埋蔵文化財の調査、研究、保存、活用を行い、文化財の保護を図るとともに、文化財保護の普及啓発に努め、地域の文化の発展に寄与することを目的に実施する。

平成 30 年度の事業計画は、次のとおりである。

### 1 発掘調査受託事業

国・京都府等が実施する公共事業に伴う埋蔵文化財発掘調査を受託する。平成 30 年度は、13 件の発掘調査（道路建設関係 8 件、施設建設関係 3 件、ほ場整備関係 2 件）及び 5 件の整理報告を併せ 9 4 4, 4 8 8 千円の事業とする。なお、普及啓発事業の一部は平成 29 年度より京都府教育委員会からの委託事業として実施している。これを加えると受託事業の総額は、9 4 8, 1 9 2 千円となる。

平成 24 年度から本格的に実施している新名神事業及びその関連事業については、奈良時代の掘立柱建物ほかを確認した城陽市芝山遺跡や沖積地に広がりを見せる水主神社東遺跡などで継続して発掘調査を実施する。今年度、奈良時代の都である恭仁京に関する遺構の可能性が指摘された木津川市岡田国遺跡については、報告書を刊行する。

亀岡中部農地整備事業に係る調査では、平成 27 年度からの亀岡市佐伯遺跡の調査を終了し、来年度は、亀岡市春日部遺跡の調査に着手する。

なお、発掘調査の結果は、遺跡調査報告集第 177 冊～179 冊として刊行する。

### 2 普及啓発事業

平成 29 年度から、「埋蔵文化財セミナー」や「成果展」等は、京都府教育委員会からの委託事業として実施しており、埋蔵文化財に関するリーフレットの作成も行う。

#### （1）埋蔵文化財セミナー（京都府教育委員会委託事業）

埋蔵文化財セミナーは、発掘調査成果の発表を通じて京都府の歴史の解明と文化財の保護に寄与するために年 3 回開催する。

第 1 回は、6 月 16 日（土）、京丹後市内において開催し、南山城地域での横穴墓と丹後半島のそれを比較検討し、さらに、畿内一帯での横穴墓との相違点などについて解説する。

第 2 回は、10 月頃に平成 29 年度に京都府内で注目を集めた遺跡について解説する。

第 3 回は、平成 28・29 年度に話題となった古代の都城遺跡などについて解説

する。

## （２）成果展（京都府教育委員会委託事業）

平成 29 年度に当調査研究センターが実施した調査成果を中心として、府内市町村の成果も加え成果展を開催する。会場は向日市文化資料館で、会期は平成 30 年 8 月上旬から 8 月下旬の約 3 週間程度を予定している。

## （３）機関誌

当調査研究センター及び府内関係機関等の発掘調査状況の速報として、当面する埋蔵文化財の調査、研究及び保護に資するために『京都府埋蔵文化財情報』を年 2 回刊行する（第 134・135 号）。

## （４）埋蔵文化財リーフレット（京都府教育委員会委託事業）

府内の遺跡発掘調査成果や府内の遺跡や遺物に焦点をあてたリーフレットを年 2 回作成する。

## （５）出前講座・体験授業等

京都府教育委員会、各教育局、市町村及び府内小・中学校などと連携して、出前講座や発掘調査体験授業等、積極的な文化財保護の啓発を行う。あわせて、ホームページで啓発事業の活動報告を行う。

## （６）「関西考古学の日」関連事業

全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックの加盟 12 法人が各種イベントを開催する「関西考古学の日」に関連して、当調査研究センターでも、京都の歴史を紹介する講座を開講する予定である。

## （７）「向日市まつり」での考古学体験ブース（京都府教育委員会委託事業）

11 月中旬の土日曜日に京都向日町競輪場において開催される「向日市まつり」において、考古学体験ブースを運営する予定である。

## （８）研究事業

当調査研究センターにとって必要な調査研究を行い、その成果を『京都府埋蔵文化財情報』に公表して、京都府における埋蔵文化財の保存と活用に資する。そのため、複数の職員による共同研究や日本考古学協会などにおいても発表や資料調査などを行い、職員の資質向上に資する。

**(9) 出土品の台帳作成等**（京都府教育委員会委託事業）

既往調査での出土品を再整理し、公開・活用可能な状態にする。

**3 その他**

**(1) 専門研修**

全国埋蔵文化財法人連絡協議会研修会や同協議会近畿ブロックが開催する研修会などに参加する。また、独立行政法人奈良文化財研究所による専門研修にも参加する予定である。

**(2) 一般研修**

人権研修推進委員会が中心となっておこなう職場研修のほか、京都府教育庁行政・人権問題研修や公益財団法人世界人権問題研究センター開催の人権大学講座にも積極的に参加する。

**(3) 遺跡検討会**

報告書刊行に向けて整理作業の進む佐伯遺跡や岡田国遺跡など大きな成果をあげた2遺跡について、職員とともに理事及び関係機関の協力を得て、遺構・遺物の検討を行い、今後の報告書に反映させる。

**(4) 講師派遣**

京都府立大学からの講師派遣依頼により、集中講義「地域考古学Ⅰ・Ⅱ、京都の歴史遺産Ⅰ・Ⅱ」を行い、土曜日に職員を交代で派遣する予定である。